

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正内容	
		訂正前	訂正後
9	一番上のBOX内 (1) 間接ビリルビン優位	肝摂取障害 肝硬変	削除
102	(2) 発作の予防 2. β 受容体遮断薬 4行目	・スパズムを誘発することがあるため、冠れん縮性狭心症には投与禁忌である。	・スパズムを誘発することがあるため、異型狭心症患者への投与は注意が必要である。
108	(2) 薬物治療 3. Ca^{2+} チャネル遮断薬	・妊婦に禁忌である。	削除
123	5) 治療 1行目	ヘリコバクターピロリを検索し、	ヘリコバクターピロリを検査し、
150	4) 検査	AST (GOT)、ALT (GPT) が軽度上昇 (AST>ALT)	AST (GOT)、ALT (GPT) が軽度上昇 (AST>ALT)
226	1) 概念	わが国では子宮頸癌が多いが、子宮体癌は近年増加の一途をたどり、子宮癌の約60%を占めるに至っている。	わが国ではかつて子宮頸癌が多かったが、子宮体癌は近年増加の一途をたどり、子宮癌の約60%を占めるに至っている。
275	① Na^+ 、 K^+ -ATPase (ナトリウムポンプ) 2行目	これにより、 Na^+ の濃度差は、『管腔側>細胞内』となる。	これにより、細胞内の Na^+ 濃度が低下する。